

2006年世界大会成功めざす活動推進ニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033
URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 【2006年5月16日 NO.3】

代表派遣、「すみやか」署名、平和行進の成功へ決意 各地で総会

「平和と核兵器廃絶に向けた情勢の潮目は変わり始めている」(加藤碩さん)

岩国市民との対話・署名の全県行動を 計画 山口県原水協総会

5月13日、山口市内で2006年山口県原水協総会がひらかれました。総会には8地域原水協12団体から58名が参加して、熱心な討議をくりひろげました。加藤碩事務局長は、報告の中で「岩国市での住民投票と市長選挙の勝利、5月12日の大阪地裁での原爆症認定訴訟での勝利など、平和と核兵器廃絶に向けた情勢の潮目は明らかに変わり始めている。これを確信にしてがんばろう」と述べました。

総会当日までに集約された「すみやか」署名は、目標5万筆に対して7136筆(14.3%)と十分ではありませんが、豊かな経験も発言の中で報告されました。毎月かさず「6・9」行動を行っている岩国、山口、周南などの地域原水協の経験。お花見を利用して大きく飛躍させた宇部地域原水協の教訓。全構成員と家族署名をていねいにすすめている県高校教員組合や新婦人のとりくみなどです。

これを力に、7月1日には、岩国市に全県の力を集中して、学習と署名の統一行動をおこない、「すみやか」署名を媒体として、岩国への米空母艦載機部隊の移転を許さないという明確な判断を下した岩国市民との対話を大きくひろげることにしています。また、新婦人が全県でとりくむ「父と暮らせば」の上映運動を全県で支援すること、2人の代表をバンクーバーに派遣すること、世界大会 広島に200人の代表団を送ることなどを決めました。(山口県原水協の通信より)

老人会総会参加の全員が署名！

私の町には、会員50人近い老人会があります。このたび総会が開かれ、23人が出席しました。席上、「すみやか署名」への賛同を訴えたところ、全員が快く応じていただきました。

会長さんが、「私たちの生きている間には戦争はないと思うけど、最近の日本はなにやらおかしくなっ

てきましたな」と発言されたら、戦争を体験してきた世代の人たち、みんな、シーンとしてしまいました。現在の日本を「戦前」にしてはならないと思います。

私は、4月には医療生協の患者会と班会で、その前には親戚の法事で、人が集まるところをお願いしてきましたが、署名はどこでもこぞって賛同いただてきました。それに、核兵器や戦争がです。この力をひろげ、原水爆禁止世界大会へとつなげたいと願っています。(三重県原水協・落合郁夫)

明誠高校門前で署名 - 長崎

5月8日(月)午後3時から4時半まで、旧琴海町(現長崎市)にある明誠高校門前で、下校中の高校生を対象に署名にとりくみました。これは西彼原水協が会議を開いて準備したものです。

原爆写真を展示し、ハンドマイクで訴えました。高



校生たちは、笑顔で署名しながら「頑張ってください」と大きな声で励ましてくれました。樋口事務局長は「大瀬戸にも、長与にも高校は一杯あるけんねー」と次の目標をめざしていました。商店街もなく人通りも少ない田舎で、家庭訪問しても、子供か老人しかいない町での行動はむづかしいけど「なんとしても・」の決意がこの行動となったものです。署名数85筆でした。(県原水協ニュースより)